

総務部

企業広告「面白いことやってやろう。」 首都圏での交通広告を現地確認！

昨年12月頃から、総務資材課の担当として、コーポレートコミュニケーション課、デザイン会社、印刷会社と共に、企業広告「面白いことやってやろう。」シリーズの交通広告案件を進めてきました。このたび、タイミング良く、広告掲出期間中の3月に東京に行く機会があり、自分の目で完成した広告を見ることができました。

新橋〜豊洲間を運行する「ゆりかもめ」の車両ジャックは2編成の全ての車両・広告枠を独占しました。車内広告の全てがクラブウの広告で統一され、どこを見ても広告が視界に入り込んでくる光景は非常に印象的でした。これまでクラブウを知らなかった方々に対しても認知を広げる良いキッカケになったのではないかと思います。

ゆりかもめの「東京ビッグサイト駅」では階段やエスカレーター壁面に大型のB0サイズのポスターを掲出しました。



ゆりかもめ車内
(車両ジャック)

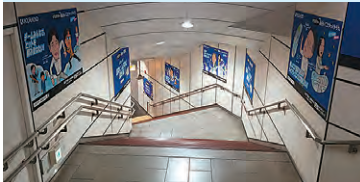


バイオ営業課が出展していた東京ビッグサイトでの「バッテリージャパン」では、ブースを訪れたお客さまからも「来る途中で広告を見たよ」といったお声があったと伺い、交通広告との相乗効果が表れていることを実感することができました。

また、同時期には、JR「新橋駅」でもB0ポスターを掲出していました。新橋駅は東京都内でも有数のビジネスパーソンが行き交う拠点であり、ゆりかもめも通勤時やイベント時は人が集中する路線です。広告は社名や簡潔なワード・絵柄に絞った構成で、一瞬でも記憶に残りやすく、社員のアニメ風のイラストは他社広告と比べても一線を画しており、とても特徴的で



ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅



バッテリー
ジャパンの
クラブウ
ブース



JR
新橋駅



(総務資材課 大友 於栗 記)

今回の取り組みが、ビジネスパーソンはもちろん、若い学生や就活生に対しても、クラブウの認知度向上につながれば幸いです。

した。どの場所も写真を撮るのが難しいほど人の流れが絶えず、それだけ多くの方々にPRができたのではないかと感じています。

実務面では、印刷製造の過程において、掲出場所や媒体ごとに用紙の種類や連量、紙目、印刷方式などの指定が異なり、綿密な設計が求められました。また、コーポレートコミュニケーション課との連携を通じ、「どんな目的で、どの場所に、どのような内容の広告を掲出するか」といった戦略的な視点に触れることができ、大変勉強になりました。